

担当者と相談し 自分に合った補償に見直し

2022年に強風が吹き、本体と被覆材に被害がありましたが、共済金のおかげで復旧が進んでいます。今までは強風は吹くものの大きな被害はなかったので補償内容を気にすることはありませんでした。しかし、今回の被害を踏まえ、契約更新の時期には補償内容の見直しをNOSAI担当者に相談したいと思います。



【紅まどんな21畝、愛媛果試48号6畝、合計27畝を栽培】

双海町は紅まどんなのハウス栽培が盛んな町です。私も温州ミカンから紅まどんなに切り替えました。本格的に農業を始めたばかりですが、積極的にチャレンジしたいと思っています。



伊予市双海町
二宮 伸彦さん(56)

